

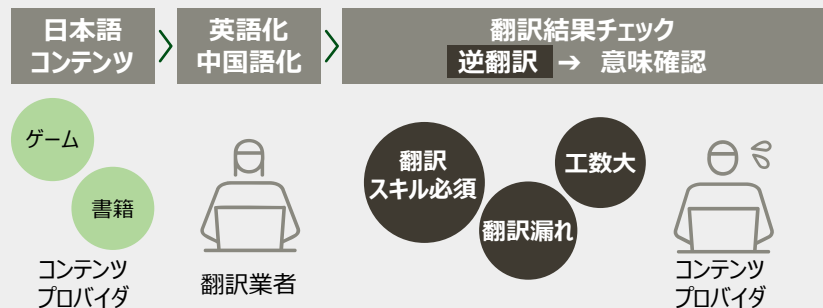
# ユースケース① 翻訳結果チェックへの活用



ゲーム業界  
出版業界

自社コンテンツを翻訳業者へ発注することが多いお客様

導入前



導入後



作業期間

40%  
短縮

## 課題

1 多言語化を外部に依頼しても最終チェックは自社

≫ 自社での翻訳スキルは必須 原価大

2 意味チェック前に逆翻訳期間が必要

≫ コンテンツリリースに一定期間必要 競争力に影響

## 解決策

翻訳チェックに  
ニューラル翻訳を利用

## 効果

1 翻訳チェック工数の低減

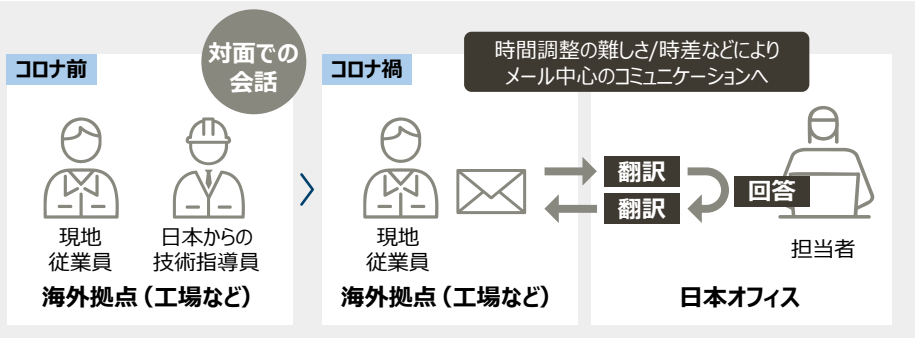
2 コンテンツのリリース短縮に成功  
機会損失のリスクを低減

# ユースケース② 海外拠点とのコミュニケーション

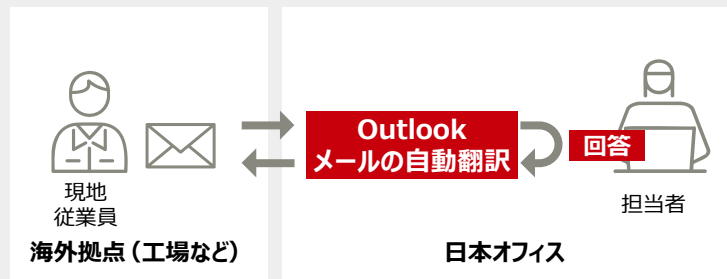


## 海外拠点との密なコミュニケーションが発生するお客様

導入前



導入後



### 課題

#### 1 コロナ禍で海外出張が困難

≫ メールでの多言語コミュニケーション増・対話期間増

#### 2 読み、書き共に翻訳工数が必要

≫ 今まで不要であった翻訳工数が発生

### 解決策

メールの読み書きに  
ニューラル翻訳を活用

### 効果

#### 1 翻訳工数の低減

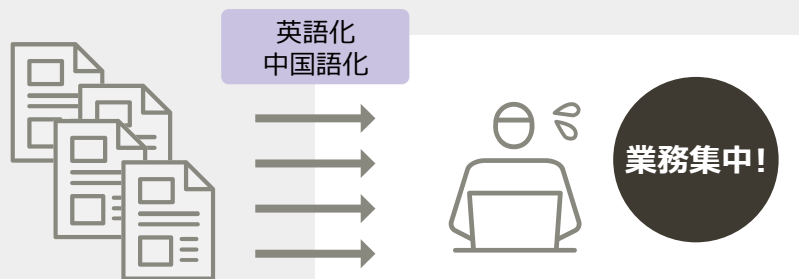
#### 2 海外工場との各対話期間が短縮

#### 3 日本オフィスの担当者の 言語スキル依存緩和

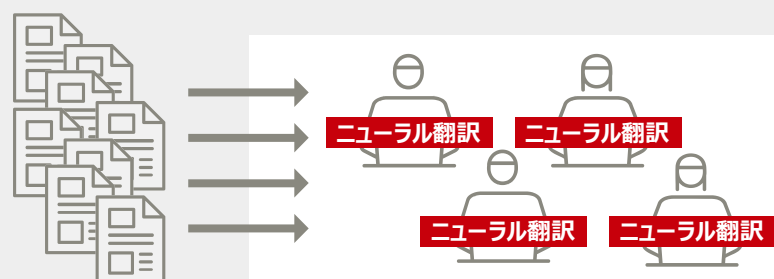


## コンサルなど海外の技術調査が必要なお客様

導入前



導入後



### 課題

- ❶ 海外の技術調査を行う際に、(英語・中国語の)論文・特許・文献調査が不可欠
  - ≫ 言語が堪能かつ専門知識のある人材に限られる調査のボトルネック

### 解決策

各調査員それぞれに  
ファイル翻訳を導入

### 効果

- ❶ 言語スキルに依存せずに海外の技術調査が可能
- ❷ 技術調査の期間短縮を実現し、早期に次の工程へ着手が可能

## 製造業 大企業

### 翻訳業務を必要とする拠点が複数あるお客様



## 課題

- 1 支部やグループ企業など翻訳を行う拠点が複数に分散
  - ≫ 翻訳業者への多重発注の発生や翻訳担当の人材が余分に必要

## 解決策

お客様サーバにAPI連携して全社に展開

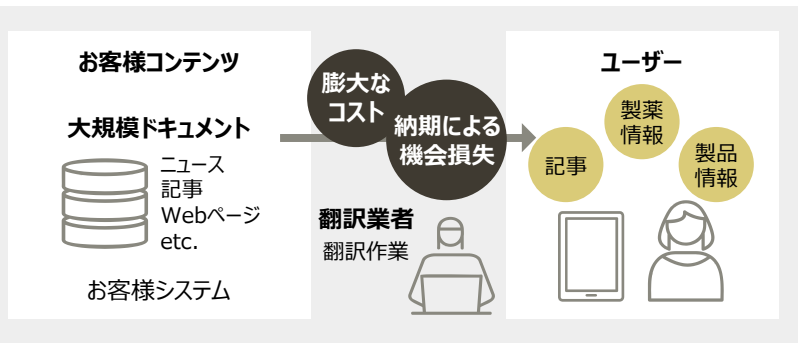
## 効果

- 1 翻訳の拠点をIT部門へ集約
- 2 翻訳業者への多重発注を回避し、余分な経費を削減
- 3 翻訳業務の効率化を実現

## 情報コンテンツ 業界

## デジタルコンテンツの多言語対応を抱えるお客様

導入前



導入後



### 課題

1 ニュース・新聞・Webコンテンツなど  
情報コンテンツの多言語化

≫ リアルタイム性や大規模な翻訳が必要なため、  
期間・コスト的に翻訳業者への発注が難しい

### 解決策

お客様サーバに  
API連携して  
コンテンツを翻訳

### 効果

- 1 翻訳を大規模かつ高速に実現
- 2 コンテンツをリリースするまでの  
期間短縮を実現